

令和7年度
第2回北栄町国民健康保険事業の運営に関する協議会

日 時 令和8年2月13日(金)

午後7時から

場 所 大栄農村環境改善センター

1階 会議室2

【 日 程 】

1 開 会

2 あいさつ

3 会長及び会長職務代行の選出

4 諮 問

5 会議録署名人の選任

6 議 題

(1) 報告事項

令和7年度北栄町国民健康保険事業特別会計決算見込みについて

P 3

(2) 審議事項

①令和8年度北栄町国民健康保険税の税率について

P 4～5

②令和8年度北栄町国民健康保険事業特別会計予算(案)について

P 6

③データヘルス計画に基づく事業実施状況について

P 7～13

④令和8年度北栄町国民健康保険事業計画の策定について

資料1

6 その他

北栄町国民健康保険事業の運営に関する協議会委員名簿

保険者名 北 栄 町

区 分	氏 名	備 考
被保険者代表	大西 賢一	
	飛川 みゆき	
医療機関代表	高見 大樹	
	牧田 眞知子	
公益代表	永田 洋子	
	岩垣 宝祥	

任 期 令和10年12月15日まで

区 分	R7年度 当初予算	補正予算						現計予算	決算見込 1月20日時点	差引
		1号(9月 補正)	2号(1月 補正)	3号(3月 補正)			流用充用			
国民健康 保険税	一般分	364,280			5,000			369,280	372,495	△ 3,215
	滞納分	3,640			△ 1,000			2,640	1,888	752
	小計	367,920	0	0	4,000	0	0	371,920	374,383	△ 2,463
国庫支出金	子ども・子育て支援補助金	0	1,210					1,210	1,210	0
	システム整備費補助金	0	46					46	46	0
県支出金	保険給付費等交付金(普通)	1,385,536			△ 236,691			1,148,845	1,148,845	0
	保険給付費等交付金(特別)	21,922			△ 830			21,092	21,092	0
	小計	1,407,458	0	0	△ 237,521	0	0	1,169,937	1,169,937	0
財産収入	基金積立金利息	8	322					330	330	0
一般会計 繰入金	その他繰入金	0						0	0	0
	法定内繰入金	125,736	230	382	△ 6,436			119,912	119,138	774
基金繰入金		0						0	0	0
その他	繰越金	844	105,532		2,272			108,648	108,574	74
歳入合計		1,901,966	107,340	382	△ 237,685	0	0	1,772,003	1,773,618	△ 1,615
総務費		21,262	1,487	382	△ 1,271			21,860	21,602	258
保険 給付費	療養給付費	1,181,414			△ 192,925			988,489	988,489	0
	審査支払手数料	3,988			△ 700			3,288	3,288	0
	高額療養費	200,124			△ 43,047			157,077	157,077	0
	その他給付	5,710			△ 2,000			3,710	2,610	1,100
	小計	1,391,236	0	0	△ 238,672	0	0	1,152,564	1,151,464	1,100
国民健康保険事業納付金		464,713						464,713	464,713	0
保健事業費		14,251			△ 100			14,151	14,000	151
基金積立金		8	30,322					30,330	30,330	0
その他		2,000	3,000				525	5,525	5,525	0
予備費		8,496	72,531		2,358		△ 525	82,860	0	82,860
歳出合計		1,901,966	107,340	382	△ 237,685	0	0	1,772,003	1,687,634	84,369

繰越見込 85,984

《1号(9月)補正》

- ・子ども子育て支援制度に伴うシステム改修費及びその経費に係る国庫補助金
- ・公金口座受払手数料の改定に伴う歳出総務費及び一般会計繰入金の増額
- ・前年度繰越金の確定に伴う基金積立金及び予備費の積み増し

《2号(1月)補正》

- ・歳出一般管理費増額とそれに伴う歳入一般会計繰入金の増額

《3号(3月)補正》

- ・歳入は国保税、県支出金、一般会計繰入金等の実績見込みによる補正
- ・歳出は総務費、療養給付費等の実績見込みによる補正

6 (2) ① 令和8年度 国民健康保険税の税率について
子ども・子育て支援金制度に伴う税率改正

(ア) 納付金の推移

単位 (円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
医療分	355,001,949	341,454,991	274,871,332	297,411,150	316,455,689
後期分	108,050,658	124,231,943	133,223,503	125,393,237	121,484,822
介護分	32,068,332	40,464,091	47,650,694	41,906,288	43,311,429
子ども・子育て分					11,735,418
合計	495,120,939	506,151,025	455,745,529	464,710,675	492,987,358
前年度比較	△ 20,229,958	11,030,086	△ 50,405,496	8,965,146	28,276,683

(イ) 子ども・子育て支援金に関する試算

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
一人当たり月額	250 円	300 円	400 円

14,083,000 15,647,000 …子ども・子育て支援納付金試算

※こども家庭庁資料による国民健康保険被保険者の試算

※令和10年度までは支援金徴収に加え、特例公債が事業の財源とされる

(ウ) 令和7年度から実施された保険料(税)水準の統一に伴う影響

単位 (千円)

	令和7年度 ($\alpha=0.8$)	令和8年度 ($\alpha=0.6$)	令和9年度 ($\alpha=0.4$)	令和10年度 ($\alpha=0.2$)	令和11年度 ($\alpha=0$)
影響額	△ 4,035	24,242	—	—	—

※令和6年度の納付金算定の数値を基にした試算 R6.4月時点

(エ) 国保会計運営状況

単位 (千円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
決算収支	57,888	62,809	105,533	85,984	—
前年度繰越金	104,622	57,888	62,809	105,533	85,984
差引実質収支	23,266	4,921	42,724	10,451	—
基金残高	140,023	140,026	140,061	170,061	170,061

(見込額)

(オ) 国保税所得割基準総所得額の前年度比較

所得割の賦課対象となる被保険者の所得額について、本算定時の前年度との比較 単位 (千円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
前年比較	△ 39,637	△ 5,673	△ 48,168	△ 37,107
割合(%)	98.49	99.78	98.14	98.54

※令和8年度は試算額

(カ) 国保税と納付金の比較割合（現年度分調定額との比較）

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
医療分	80.83%	81.83%	98.02%	89.97%	81.01%
後期分	76.45%	66.12%	60.49%	64.27%	65.44%
介護分	85.88%	72.17%	60.44%	67.01%	61.26%
子ども分					80.76%

※令和8年度は当初予算額との比較

(キ) 賦課割合の状況（本算定時）

年度	〈応能割〉		〈応益割〉		応能割	応益割	均等割	平等割
	所得割	資産割	均等割	平等割				
R4	48.76%	6.95%	29.14%	15.15%	55.71%	44.29%	65.80%	34.20%
R5	52.30%	3.41%	29.03%	15.26%	55.71%	44.29%	65.55%	34.45%
R6	55.95%	0.00%	28.78%	15.27%	55.95%	44.05%	65.34%	34.66%
R7	57.24%	0.00%	27.85%	14.91%	57.24%	42.76%	65.14%	34.86%
R8	56.70%	0.00%	28.11%	15.19%	56.70%	43.30%	64.92%	35.08%

※令和8年度は当初予算額との比較で、均等割には「18歳以上均等割額」を含む

(ク) 1人当たり税額（本算定時現年度分調定額）

軽減後の賦課税額を本算定時の賦課対象被保険者数で割って算出

単位（円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
税額(調定額)	110,338	112,932	114,334	121,120	120,088

※令和8年度は当初予算額から算出

令和8年度 税率改正(案)

※令和6年度から資産割を廃止し、3方式としています。

年度	区分	所得割率	均等割額	平等割額
		(%)	(円)	(円)
6年度 7年度	医療分	7.10	29,400	27,300
	後期分	2.10	8,100	7,700
	介護分	1.80	8,500	5,800
	計	11.00	46,000	40,800

年度	区分	所得割率	均等割額	平等割額
		(%)	(円)	(円)
8年度 (案)	医療分	6.85	28,300	26,500
	後期分	2.10	8,100	7,700
	介護分	1.80	8,500	5,800
	子ども・子育て分	0.25	1,000	800
			100	
計	11.00	46,000	40,800	

※子育て分の均等割下段は、18歳以上均等割額

6(2)②

令和8年度 北栄町国民健康保険特別会計 当初要求時比較

1. 歳入

(千円)

科 目		R7	R8	増減	備考
国民健康保険税	医療				
	現年度分	258,920	256,350	△ 2,570	
	滞納繰越分	2,600	2,200	△ 400	
	後期				
	現年度分	77,864	79,503	1,639	
	滞納繰越分	770	650	△ 120	
	介護				
現年度分	27,496	26,534	△ 962		
滞納繰越分	270	210	△ 60		
子育て					
現年度分		9,477	9,477		
滞納繰越分		0	0		
税 合 計		367,920	374,924	7,004	
国庫支出金					
	子ども・子育て支援事業補助金	0	4,752	4,752	
	国保システム補助金	0	0	0	
県支出金					
	保険給付費等交付金(普通)	1,385,536	1,162,577	△ 222,959	
	保険者努力分	6,000	4,462	△ 1,538	
	特別調整交付金分	1,684	1,681	△ 3	
	県繰入金(2号分)	10,000	15,000	5,000	
	特定健康診査分	4,238	4,220	△ 18	
	財政安定化基金交付金		0	0	
県支出金 計		1,407,458	1,187,940	△ 219,518	
財産収入					
		8	426	418	基金利息
一般会計繰入金					
	保険基盤安定繰入金(保険税軽減)	60,200	60,200	0	
	保険基盤安定繰入金(保険者支援)	33,100	35,000	1,900	
	事務費等繰入金	21,061	24,018	2,957	
	出産一時金繰入金	3,333	3,333	0	
	財政安定化繰入金	6,442	6,660	218	
	未就学児均等割軽減繰入金	1,300	1,300	0	
	産前産後保険料繰入金	300	300	0	
	財政調整基金繰入金	0	10,000	10,000	
繰入金 計		125,736	140,811	15,075	
繰越金					
	延滞金	500	500	0	
諸収入					
	雑収入				
	高額貸付金元利収入	232	184	△ 48	
	第三者納付金	10	10	0	
	返納金	100	100	0	
	雑入	1	1	0	
諸収入 計		843	795	△ 48	
収入合計		1,901,966	1,709,649	△ 192,317	

2. 歳出

(千円)

科 目		R7	R8	増減	備考
総務費	一般管理費	15,513	21,603	6,090	
	連合会負担金	1,872	2,009	137	
	賦課徴収費	3,823	5,451	1,628	
	運営協議会費	54	54	0	
総務費 計		21,262	29,117	7,855	
療養給付費					
		1,178,403	999,865	△ 178,538	
療養諸費					
	療養費	3,011	3,821	810	
	移送費	10	10	0	
	高額療養費	199,924	154,838	△ 45,086	
	高額介護合算療養費	200	200	0	
	審査支払手数料	3,988	3,862	△ 126	
	出産育児一時金	5,000	5,000	0	
	葬祭費	700	700	0	
	傷病手当金	0	0	0	
療養諸費 計		1,391,236	1,168,296	△ 222,940	
納付金					
	医療給付費分	297,412	316,456	19,044	確定通知
	後期高齢者支援金分	125,394	121,485	△ 3,909	確定通知
	介護納付金分	41,907	43,312	1,405	確定通知
	子ども・子育て分	0	11,736	11,736	算定修正
納付金 計		464,713	492,989	28,276	
共同事業拠出金					
	その他共同事業	0	0	0	
保険事業費	特定健康診査等事業	12,573	11,763	△ 810	
	保健衛生普及事業	1,663	1,937	274	
	糖尿病性腎症重症化予防事業	15	15	0	
保健事業費 計		14,251	13,715	△ 536	
基金積立金					
		8	426	418	基金利息
公債費					
			0	0	
諸支出金					
	保険税還付金	2,000	2,000	0	
	償還金		0	0	
				0	
諸支出金 計		2,000	2,000	0	
予備費		8,496	3,106	△ 5,390	
支出合計		1,901,966	1,709,649	△ 192,317	

歳入歳出差引 0

6 (2)③ データヘルス計画に基づく事業実施状況について

《令和6年度の事業実施状況》

事業番号1 高血圧・糖尿病対策		R05年度	R06年度	R06目標値
アウトカム	特定健診結果:血圧(収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上)	37.2%	36.6%	37%
	特定健診結果:血糖(HbA1c 5.9%以上)	20.4%	24.7%	21%
	特定保健指導実施率	20.3%	17.1%	25%
	1日30分以上の運動習慣のない該当者割合	70.9%	70.9%	70%
	毎日飲酒の該当者割合(男性)	51.6%	40.9%	53%
	毎日間食の該当者割合(女性)	35.0%	30.7%	30%
アウトプット	運動教室の実施回数	4回	2回	4回
	食べ方講座の開催	2回	0回	1回
	健康講座の開催	26回	36回	20回
	生活習慣病予防講演会の開催	1回	1回	1回

事業番号2 腎不全重症化予防対策		R05年度	R06年度	R06目標値
アウトカム	CKD重症度分類②～④の割合	5.2%	4.1%	4.2%
	医療機関未受診者のうち、健診結果異常値によりその後医療機関を受診した者の割合	10.5%	33.3%	25%
アウトプット	未受診者への保健指導実施率	36.8%	66.7%	30%
	ヘルスアップ教室の開催	3回	4回	4回

事業番号3 特定健診・がん検診受診率向上		R05年度	R06年度	R06目標値
アウトカム	特定健康診査受診率	44.1%	43.3%	45%
	胃がん検診受診率	30.3%	30.0%	30%
	肺がん検診受診率	36.7%	38.0%	37%
	大腸がん検診受診率	52.0%	35.4%	57%
	子宮がん検診受診率	31.6%	30.2%	32%
	乳がん検診受診率	18.6%	17.0%	18%
	無料クーポン利用率(胃がん検診)	10.8%	11.6%	10%
	無料クーポン利用率(子宮がん検診)	14.3%	15.5%	15%
	無料クーポン利用率(乳がん検診)	29.9%	15.6%	22%
アウトプット	未受診者への受診勧奨通知回数	6回	7回	6回
	健康ポイントラリー応募数	488人	536人	480人

事業4 地域と連携した健康づくり事業の推進		R05年度	R06年度	R06目標値
アウトカム	食生活改善推進員養成講座開催(2年に1回)	隔年	1回	1回
アウトプット	食生活改善推進員の学習会の開催回数	9回	9回	9回
	食生活改善推進員による地域での伝達講習会開催回数	25回	32回	24回
	健診会場での食生活改善推進員による啓発活動回数	2回	2回	2回
	まちの保健室開催回数	1回	2回	1回

第3期 データヘルス計画 (抜粋)

V データヘルス計画 (保険事業全体) における目標等

保険者の健康課題	生活習慣病の重症化 (高血圧症・糖尿病)
----------	----------------------

①項目	②健康課題	③優先する健康課題	④対応する事業番号※
A	健診未受診者の1人当たり医療費が健診受診者に比べて高く、未受診者の糖尿病・高血圧症の有病率が高い。	3	1, 2, 3, 4
B	血圧の重症化の進んだ者の割合が鳥取県より高く、脳血管疾患の標準化死亡比が高い。	1	1, 4
C	生活習慣の改善が必要な者 (運動習慣・飲酒・間食) の対象者割合が高く、血圧の有所見者・高血圧症の有病率が高い。	2	1, 2, 4
D	CKD重症度分類の異常値の対象者割合が経年的にやや増加傾向にある。	4	1, 2, 4

データヘルス計画全体における目的	早期に病気を発見し、生活習慣の改善等により重症化を予防する。また、被保険者自身の健康意識を高め、自らのセルフケア意識を高める。
------------------	---

⑤項目	⑥データヘルス計画全体における目的	⑦評価指標	⑧計画策定時実績	⑨目標値					
			2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
A	町民の健康状態の把握	特定健康診査受診率	44.6%	45%	47%	50%	52%	55%	60%
		胃がん検診受診率	28.6%	30%	32%	33%	34%	35%	36%
		肺がん検診受診率	35.0%	37%	39%	40%	41%	42%	43%
		大腸がん検診受診率	56.1%	57%	58%	59%	60%	60%	60%
		子宮がん検診受診率	30.2%	32%	33%	34%	36%	37%	38%
		乳がん検診受診率	17.3%	18%	19%	20%	21%	22%	22%
		無料クーポン利用率 (胃がん検診)	9.0%	10%	11%	12%	13%	14%	15%
		無料クーポン利用率 (子宮がん検診)	14.3%	15%	16%	17%	18%	19%	20%
		無料クーポン利用率 (乳がん検診)	21.1%	17%	19%	21%	22%	24%	25%
B	高血圧症の重症化予防	特定健診結果：血圧 (収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上)	38.0%	37%	36%	35%	34%	33%	32%
		特定保健指導実施率	17.5%	25%	35%	45%	50%	55%	60%
C	生活習慣の改善	1日30分以上の運動習慣のない該当者割合	70.5%	70%	68%	66%	64%	62%	60%
		毎日飲酒の該当者割合 (男性)	53.9%	53%	51%	49%	47%	45%	42%
		毎日間食の該当者割合 (女性)	30.9%	30%	29%	28%	27%	26%	25%
住民の健康意識の向上	食生活改善推進員養成講座開催 (2年に1回)	1回	1回	—	1回	—	1回	—	

⑤ 項目	⑥データヘルス計画 全体における目的	⑦評価指標	⑧計画 策定 時実績	⑨目標値					
			2022年度 (R4)	2024 年度 (R6)	2025 年度 (R7)	2026 年度 (R8)	2027 年度 (R9)	2028 年度 (R10)	2029 年度 (R11)
D	腎不全の重症化 予防	特定健診結果：血糖 (HbA1c 5.9%以上)	21.9%	21%	20%	19%	18%	17%	16%
		CKD重症度分類②～④ の該当者割合	4.6%	4.2%	4.0%	3.8%	3.6%	3.4%	3%
		医療機関未受診者のうち、健診結果 に異常値があり医療機関を受診した 者の割合	24.0%	25%	30%	35%	40%	45%	50%

(注1) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

個別の保健事業

⑩事業番号	⑪事業名称	⑫重点・ 優先度
1	高血圧・糖尿病対策	1
2	腎不全重症化予防対策（拡充）	3
3	特定健診・がん検診受診率向上	2
4	地域と連携した健康づくり事業の推進	4

VI 健康課題を解決するための個別保健事業

事業番号1 高血圧・糖尿病対策

事業の目的	生活習慣病の発症リスクが高い人に対して、一人ひとりに合わせた生活習慣の見直しをサポートする。
対象者	生活習慣病の発症リスクの高い者
現在までの事業結果	<ul style="list-style-type: none"> 血圧の有所見者率は、年々増加しており対策が必要である。 血糖の有所見者率は、年々減少しているが目標値には及ばなかった。 保健指導実施率は、R3は上昇したが、R4は約18%と目標値に及ばなかった。 健診会場や健康講座の際に、家庭血圧測定を推進しており、家庭血圧測定を実施している人の割合は増加した。(H29:29.1%⇒R2:32.3%) 適正飲酒についても機会を捉えて啓発はしているが、毎日飲酒者は県や国に比べて高く、休肝日の重要性、適量飲酒量等、保健指導の際にはより個別指導に力を入れる必要がある。

今後の目標値

指標	評価指標	計画策定時実績						
		R4	R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム (成果)	特定健診結果：血圧 (収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上)	38.0%	37%	36%	35%	34%	33%	32%
	特定健診結果：血糖 (HbA1c 5.9%以上)	21.9%	21%	20%	19%	18%	17%	16%
	特定保健指導実施率	17.5%	25%	35%	45%	50%	55%	60%
	1日30分以上の運動習慣のない該当者割合	70.5%	70%	68%	66%	64%	62%	60%
	毎日飲酒の該当者割合 (男性)	53.9%	53%	51%	49%	47%	45%	42%
	毎日間食の該当者割合 (女性)	30.9%	30%	29%	28%	27%	26%	25%
アウトプット (実施量・率)	運動教室の実施回数	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回
	食方講座の開催	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	健康講座の開催	20回	20回	20回	20回	20回	20回	20回
	生活習慣病予防講演会の開催	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回

※ 太枠のR8年度は中間評価年度、R11年度は最終評価年度。

事業番号2 腎不全重症化予防対策

事業の目的	健診結果で糖尿病が重症化するリスクの高い人について、適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析への移行を防ぐ。
対象者	特定健診受診者の内、健診結果異常値の者
現在までの事業結果	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関未受診者のうち、健診結果に異常値があり、その後医療機関を受診した者の割合が減少傾向にある。 未受診者への保健指導実施率は、令和4年度は28%となり目標値には及ばなかった。 ハイリスク者のうち、より重症化するリスクの高い方に対し、かかりつけ医と連携のもと、保健指導を外部委託で支援し、意欲の継続、検査数値の一部改善が見られた。 ヘルスアップ教室参加後の生活改善または検査値の維持改善は、どの年度においても目標値を上回り、90%を超える改善が見られた。 対象者の自己管理能力を高め人工透析への導入を阻止・延長することで、QOLの維持・向上につなげ、また医療費の適正化を図るためにも引き続き事業実施する必要がある。

今後の目標値

指標	評価指標	計画策定時実績						
		目標値						
		R4	R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム (成果)	CKD重症度分類②～④の割合	4.6%	4.2%	4.0%	3.8%	3.6%	3.4%	3%
	医療機関未受診者のうち、健診結果の異常値により、その後医療機関を受診した者の割合	24.0%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
アウトプット (実施量・率)	未受診者への保健指導実施率	28.0%	30%	33%	36%	40%	45%	50%
	ヘルスアップ教室の開催	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回

※ 太枠のR8年度は中間評価年度、R11年度は最終評価年度。

事業番号3 特定健診・がん検診受診率向上

事業の目的	これまで健診を受けたことがない人や通院中の対象者にも、特定健診やがん検診の必要性を啓発し受診勧奨を行い、目標受診率を達成する。また、受診しやすい環境づくり、受診したくなるような環境づくりを行う。
対象者	特定健診・がん検診未受診者
現在までの事業結果	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率は年々上昇し、令和4年度は44.6%となったが、目標値には及ばなかった。 がん検診受診率は、胃がん検診が令和4年度にやや減少したものの、その他の検診受診率は経年的に上昇した。そのうち大腸がん検診は56.1%と目標値を8ポイント上回る結果となった。

今後の目標値

指標	評価指標	計画策定時実績						
		R4	R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム (成果)	特定健康診査受診率	44.6%	45%	47%	50%	52%	55%	60%
	胃がん検診受診率	28.6%	30%	32%	33%	34%	35%	36%
	肺がん検診受診率	35.0%	37%	39%	40%	41%	42%	43%
	大腸がん検診受診率	56.1%	57%	58%	59%	60%	60%	60%
	子宮がん検診受診率	30.2%	32%	33%	34%	36%	37%	38%
	乳がん検診受診率	17.3%	18%	19%	20%	21%	22%	22%
	無料クーポン利用率 (胃がん検診)	9.0%	10%	11%	12%	13%	14%	15%
	無料クーポン利用率 (子宮がん検診)	14.3%	15%	16%	17%	18%	19%	20%
	無料クーポン利用率 (乳がん検診)	21.1%	22%	23%	24%	25%	26%	27%
アウトプット (実施量・率)	未受診者への受診勧奨通知回数	6回	6回	6回	6回	6回	6回	6回
	健康ポイントラリー応募数	477	480	485	490	494	497	500

※ 太枠のR8年度は中間評価年度、R11年度は最終評価年度。

事業番号4 地域と連携した健康づくり事業の推進

事業の目的	自治会長、健康推進員、食生活改善推進員、健康サポーター等の連携を図り、行政だけでなく、住民一人ひとりが健康づくりを自身の問題としてとらえ、健康意識を高める。
対象者	町民
現在までの事業結果	<ul style="list-style-type: none"> 健診、健康講座、自主的な取り組み等を健康づくりに関する健康ポイントとしたことで参加しやすくなり、健康意識を高めることにつながった。 食生活改善推進員は、学習会で健康づくりや食育推進に関する知識を深め、学んだことを地域の健康づくりに反映させている。 健康サポーターは企業や自治会の出前講座など積極的に活動しているが、会員の増加が必要。

今後の目標値

指標	評価指標	計画策定時実績						
		R4	R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム (成果)	食生活改善推進員養成講座開催(2年に1回)	1回	1回	—	1回	—	1回	—
アウトプット (実施量・率)	食生活改善推進員の学習会の開催回数	9回	9回	9回	9回	9回	9回	9回
	食生活改善推進員による地域での伝達講習会開催回数	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回
	健診会場での食生活改善推進員による啓発活動回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回
	まちの保健室開催回数	—	1回	1回	1回	1回	1回	1回

※ 太枠のR8年度は中間評価年度、R11年度は最終評価年度。